



“興味をもったことに夢中です！”

「先生！ほら、バッタを捕まえたよ！」「花びらが落ちていたよ！」など、園生活の日常の中で、子どもたちは、この自然に恵まれた蒲生に唯一存在することも園で、子どもたちのお仕事といえる「遊び」に夢中です。

子どもたちは自分の興味をもったことに夢中で取り組んでいます。これから梅雨に入り、微妙なお天気が続きますが、色紙や廃材を使って思い思いの物を作ったり、体を楽しく動かすリズム遊びをしたり、梅雨の生き物に親しんだりするなど、室内の遊びの環境も充実させ、引き続き園生活を満喫できるようにしていきたいと考えます。



“子育て中のあなたへのメッセージ”



第2回～言葉にお金はいらない シャワーみたいにやさしい言葉を
いっぱいかけてあげよう～

お金をかけるより、やさしい言葉をいっぱい子どもにかけてあげましょう。お金が無くてもできます。我が子の状態をしっかり受け止め、努力を認め、優しい言葉をたくさんかけることで、やさしい素直な子に育ちます。

◆：場面としては、ピアノの発表会で緊張している我が子を目の前にしたお母さんを想定しています。①～④の順番が理想的です。言葉かけの答えを、下記に例示しています。

- ① 事実を受け入れる。(受容)
- ② 前向きな捉え方に変換する。(承認)
- ③ してほしいことを肯定的に伝える。(行動)
- ④ 背中をトンと押してあげる。(激励)



- ① ○○ちゃん、緊張しているんだね。
- ② でもね、緊張しているってことは、今日まで一生懸命練習してきたってことよね。
- ③ だから大丈夫！！自分を信じて、思いっきり楽しんでほしいな！
- ④ お母さんが、客席からしっかり見守ってるから大丈夫だよ。安心して、行ってらっしゃい！！

園長からのお願い

- 1 8：45までの登園をお願いします。(子どもたちのリズムを作るために必要です。)
- 2 子どもがおんぶや抱っこを求めてきたら、嫌がらずにしてください。(求めてくる子は足りていないのです。幼少期に満たしておくことが大切です。)
- 3 子どものお話をしっかり聞いてあげてください。(台所に立ちながらでもOK！)